

●対象活動:長期中干し

組織名	環境営農組合
氏 名	雲南太郎

- ・配布した実施区画を参考に原則圃場ごとに生産記録をまとめてください
- ・ただし、同じ取組、同じ栽培方式、同じ作物ならば、別々の圃場でも一枚の生産記録にまとめて良いです

ほ場名	実施面積 (a) ※	作物名 (5割低減)	備考
圃場番号1～10	15a	つや姫	

(注1)記入欄が足りない場合は、別様式(任意)を用いることも可。

(注2)実施時期が複数日ある場合は、「実施時期(開始日)」及び「実施時期(終了日)」いずれも記載

※実施面積は法面や畦畔を除いた値とすること

- ・中干しを行った期間を記載してください(14日以上)。
- ・溝切りを行った日にちを記載してください。

1. 対象活動

実施時期	溝切り実施日	溝切り本数 (本/10a)	備考
令和7年〇月〇日～令和7年〇月〇日	令和〇年〇月〇日	3	

(注1)中干しは生育中期に14日以上実施すること。

(注2)溝切りは10aあたり1本以上実施すること。

(留意事項)地域の生物相に応じて、地域内に江の設置や中干しを実施しない水田の確保など、生態系保全の対策を検討すること。

窒素成分量の計算の仕方
窒素成分の割合×使用量
例)

$$15\text{ kg}/10\text{a} \times 20\% = 3.0\text{ kg N}/10\text{a}$$

2. 使用肥料(5割低減の取組)

資材等の名称	化学肥料 窒素成分 の割合(%)	使用量 (kg/10a)	【5割低減】 化学肥料 窒素成分 (kgN/10a)	【慣行レ ベル】 化学肥料 窒素成分 (kgN/10a)	使用時期	備考
〇〇500	15	20	3		令和7年〇月〇日	
合計						

(注1)化学肥料のほか、指定混合肥料、混合堆肥複合肥料、混合汚泥複合肥料等などの化学肥料窒素成分を含む肥料を施用する場合は全て記載すること。

(注2)適宜、行を追加して記入すること。

3. 使用農薬(5割低減の取組)

農薬名 (商品名、剤型)	用途		【5割低減】 節減対象農薬 成分回数	【慣行レベル】 節減対象農薬 成分回数	使用時期	備考
〇〇粒剤	殺菌剤		1		令和7年〇月〇日	
〇〇粒剤	殺虫殺菌剤		3		令和7年〇月〇日	
〇〇フロアブル	植物成長調整剤		1		令和7年〇月〇日	
〇〇乳剤	除草剤		1		令和7年〇月〇日	
〇〇顆粒水和剤	殺虫剤		-		令和7年〇月〇日	日本農林規格(JAS)適応
合計			6	10		

成分回数の計算の仕方
農薬が含む有効成分の数×散布回数
例)

$$\begin{aligned} & \text{殺虫剤 (2成分)} \times \text{散布1回} = 2 \\ & \text{殺菌剤 (1成分)} \times \text{散布1回} = 1 \\ & \text{殺菌剤 (2成分)} \times \text{散布1回} = 2 \\ & \text{殺虫剤 (2成分)} \times \text{散布1回} = 2 \end{aligned}$$

(注1)有機農産物の日本農林規格で使用可能な表B.1の農薬も含め、使用した農薬は全て記入すること。

(注2)適宜、行を追加して記入すること。

4. 保管書類

☐写真 ☐使用した農薬、化学肥料の購入伝票等

☐がある項目については、該当する項目の☐に■又は✓を記入すること。